

比喩の解釈と面白さの関係に関する予備的検討

京都大学大学院・教育学研究科

平知宏 (sakusha@syd.odn.ne.jp) ・楠見孝 (kusumi@educ.kyoto-u.ac.jp)

背景・目的

比喩の面白さはどのように認知されている？

★多くの情報を包含する比喩は面白い (c. f. Sperber & Wilson, 1993). 例えば……

例1: 比喩から産出される解釈の数と面白さの評定値の間に相関関係が見られる (平・中本・楠見 (2006a) のデータより, $r = .49^{***}$, $N = 30$).

例2: 理解の容易さと解釈の数が, 面白さの認知に関するパスモデル (平・中本・楠見, 2006b).

解釈するとはどういうこと？

★主題と喩辞の類似を反映する解釈を思いつく

・あくまでも適切な解釈を生みだすことが重要, 意味が通らない解釈じゃダメ.

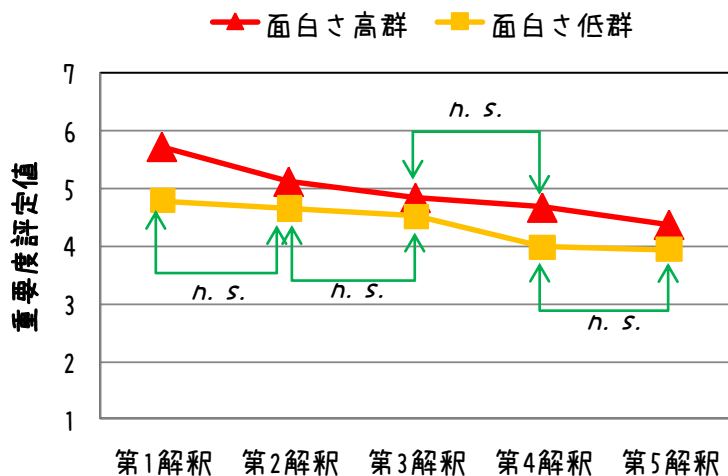
・解釈が深い処理であり, 処理水準の深さが面白さの認知に結び付いている? (c. f. 中村, 2009)

★多様な解釈を想起する場合

・解釈一つ一つの処理が, どのように面白さ認知に関わるか?

→面白い比喩とそうでない比喩それぞれにおいて, 想起される複数の解釈はどのように処理されているか?

結果



考察

想起される解釈の重要度から

★面白い比喩は, 想起される複数の解釈間に, わりと明確な重要度のランクが存在する.

→解釈間に関連性がある (平・中本・楠見, 2007) ことに加え, 1つの解釈を想起すると, 次に想起される解釈が何になるのか, 個人によらないある程度の順位付け (もしくは解釈の法則?) が存在しているのではないかと解釈の広がり面白さにつながるということ?

★面白くない比喩は, 想起される解釈間に明確なランクが存在しない.

→解釈どうしが互いに拮抗して存在している. 何を思い浮かべるか, 個人によって差がある? 解釈が広がるというよりは, 停滞している?

方法

材料

★直喩26文を使用

・平・中本・楠見 (2006) で用いた30の比喩のうち, 面白さの値 (1-5段階) の中央値を基準に, 評定値の高い面白さ高群比喩を13文 ($M = 3.23$), 面白さ低群比喩を13文 ($M = 2.81$) 用意.

・直喩それぞれに対し, 解釈を5タイプ用意. 予備調査として, 大学生・大学院生18名により, それぞれの比喩における5つの解釈について, 重要度順のランク付けを求め, その結果をもとにそれぞれの比喩の第1-5解釈を設定.

手続き

★解釈の重要度評定

・質問紙を用いた集団形式で実施. 直喩とその5つの解釈を参加者に呈示し, 比喩の解釈としてのそれぞれの重要度を7段階で評定するよう求めた (1:全く重要でない - 7:大変重要である).

参加者

★日本語を母語とする大学生30名 (男性10名, 女性20名, 平均19.8歳)

結果の分析

・2要因分散分析

面白さ (高群or低群) × 解釈順位 (第1~5解釈)

・主効果および交互作用が有意

面白さ ($F(1, 29) = 99.90$, $p < .001$)

解釈順位 ($F(4, 116) = 78.65$, $p < .001$)

面白さ × 解釈順位 ($F(4, 116) = 7.31$, $p < .001$)

*材料分析では交互作用が有意ではなかった.

注目するところ

面白さ高群の比喩では, 第1から第3解釈の重要度間に差がみられているが, 面白さ低群の比喩では, 第1と第2解釈, 第2と第3解釈の間に有意差が見られていない.

比喩の解釈と面白さの関係に関する予備的検討

京都大学大学院・教育学研究科

平知宏 (sakusha@syd.odn.ne.jp) ・ 楠見孝 (kusumi@educ.kyoto-u.ac.jp)

Appendix: 比喩の解釈とその順位

★面白さ高群

責任は荷物のようだ

重くしかかるものだから 背負うものだから 捨てることができ
ないものだから 誰かにあづけることもできるから 持っ
ただけで力がつくものだから

時間はお金のようだ

大切なものだから 使うとすぐなくなるから 決められた量し
かないから 無駄に使うと後悔するから 自分に役立つものが
得られるから

言葉は宝物のようだ

大切なものだから なくなると困るものだから あとに残るもの
だから 人を喜ばせるものだから 実は結構重いから

議論は戦争のようだ

意見を対立させるものだから 激しいものだから 勝負事だから
一人でできないものだから お互いが一方的であるから

酒は恋人のようだ

なぐさめてくれるものだから 依存してしまうものだから 気分を
良くしてくれるものだから 飲まれてしまうものだから 度を越
すと大変なものだから

悲しみは海の底のようだ

とても暗いものだから とても深いものだから とても静かなもの
だから 押しつぶされてしまうものだから なかなか浮上できな
いものだから

時間は資源のようだ

貴重なものだから 限りがあるものだから 換えることができない
ものだから いずれなくなるものだから 有効に使うことが必要
なものだから

笑顔は花のようだ

人をなごませるものだから きれいなものだから ひらくものだから
相手をおびきよせるものだから 原因がないと生じないもの
だから

言葉は武器のようだ

人を傷つけるものだから 自分の身を守ることができるから 人を
支配するものだから 使うのに熟達を必要とするから 機関銃の
ように放たれるから

人生は旅のようだ

長い道のりだから 何が起るかわからないから 楽しみも苦しみ
もあるから 一緒に歩む人がいるから 時に迷うこともあるから

恋は魔法のようだ

とても不思議なものだから 自分を変えてしまうものだから 急に
かかってしまうものだから ものの見方が変わってしまうから
実はウソだから

人生はギャンブルのようだ

何が起るかわからないから リスクを負うものだから 当たり外
れがあるから 一度きりのものだから 思い切りが必要なもの
だから

恋は病気のようだ

苦しむものだから 体が熱をもつから 正常な判断ができなくなる
から かかってしまうものだから 一過性でそのうち冷めるから

★面白さ低群

議論は建築物のようだ

多くの人によって作られるから どんどん積み重なっていくから
土台が必要になるから どちらも構造を持つから 壊れることもあ
るから

学力は貨幣のようだ

あって困ることはないから 価値のあるものだから 使わなければ
意味がないから 何かと交換できるものだから 手に入れるのに努
力が必要だから

悲しみは雪のようだ

いつか消えるものだから 冷たいものだから どんどん積み重なる
ものだから どこかすがすがしいものだから 身にしみるもの
だから

知識は食物のようだ

吸収していくものだから 人によって好き嫌いがあるから 人に必
要なものだから 蓄えられるものだから 摂取のしすぎは身体に毒
だから

学力は階段のようだ

上を目指すものだから 下がることもあるから 登るのに努力を要
するから 徐々に上がるものだから 踏み外すと危険なもの
だから

結婚は墓場のようだ

そこが最終地点だから 落ち着く場所だから そこに縛られるから
家族のつながりを感じるものだから 怖いものだから

犯罪は伝染病のようだ

周りにうつっていくから 良くないものだから 消えるものではな
いから 地域性があるから 弱者が狙われるから

結婚は冷蔵庫のようだ

色々なものが詰まっているから なかを冷やすものだから 大切な
ものを保存するものだから 徐々に冷えすぎるものだから 閉じ込め
られてしまうものだから

犯罪はウィルスのようだ

周りにどんどん広がるから 人にとって悪いものだから 次々に伝
染していくものだから 次々に新しい物が出てくるから 目に見え
ない形で潜んでいるから

酒は潤滑油のようだ

人との関係をスムーズにするから 適量を越すと大変なことになる
から ぎこちなさを取り去るものだから 頭の回転が速くなるから
口が滑るようになるから

知識はアクセサリーのようだ

身につけるものだから 集めていくものだから 見せびらかせるも
のだから 頭の中で光り輝くから あった方が良いもの
だから

希望は光のようだ

明るく輝くものだから 先を照らしてくれるから 突然差し込んで
くるものだから どちらもたよりになるものだから なければ目の
前が真っ暗だから

怒りは爆発のようだ

いつ起るかわからないものだから 熱くなるものだから 激しい
ものだから 抑えきれないものだから やかましいもの
だから